

水草等対策技術開発支援事業実績

採択年度	平成 29 年度	事業者名	共和化工株式会社
補助事業名	特定外来生物に対する減量減容化方法の検証と堆肥や飼料としての有効利用の検討		
補助事業結果概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 約 5 t の特定外来生物を高熱生物処理で分解し、9 割近くを減容化した。また、特定外来生物が完全に死滅することを確認した。 ・ 処理時間：90 日間（1 回の処理時間は 45 日で、2 回連続で実施） ・ 処理産物の成分は窒素、リン酸の含有量が一般的な堆肥よりも高く、コマツナを栽培した結果、生育重量や旨味の向上が見られ、化成肥料と同等以上の肥料効果が認められた。 		
<p>本年度（平成 30 年度）の状況</p> <p>・ 技術開発等の状況を含む</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高熱生物処理による堆肥化技術は、特定外来生物以外の有機性廃棄物（下水汚泥、生ごみ、剪定枝、家畜糞尿など）の処理実績が全国にあるため、琵琶湖の水草（藻）の処理も技術的に十分可能である。 ・ そのため、将来的に特定外来生物だけでなく地域全体の有機性廃棄物を集中的に処理し、良質な肥料として農業に再利用できるような資源循環の取組みを、県や市町村などへ PR している。 ・ 滋賀県内の個人の農業団体に本件を PR し、将来的に高熱生物処理により生産された肥料の利用を想定し、弊社が別な施設で生産した肥料を、農業利用し始めて頂いた。 		
備考			